

骨牌稅法案委員會會議錄(筆記)第四回

(完)

會議

明治三十五年二月二十八日午前十一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

齋藏 壽雄君

田口 卯吉君

高津 雅雄君

後藤 文一郎君

宮原 幸三郎君

三輪 潤太郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏總務長 阪谷 芳郎君

大藏書記官 若槻禮次郎君

官法學博士

○委員長齋藤壽雄君 前回ニ於テハ田口君ノ修正說ヲ可決シ其ノ法文ノ整理ハ委員長ニ一任シテ散會セシカ今度田口君ヨリ前回ノ修正ノ不備ヲ補フガ爲更ニ二三ノ修正ヲ爲シタキニ付本案ヲ再議ニ付スヘキコトヲ請求シ來レリ先例モアレハ差支ナシト信シ諸君ノ御參集ヲ煩シタル次第ナリ諸君ニ於テ再ヒ本會ヲ開キ本案ヲ再議ニ付スルコトニ付テ異議ナキヤ

(一同異議ナシト呼フ)

○委員長齋藤壽雄君 然ラハ本案ヲ再議ニ付セム

○田口卯吉君 前回ニ於テ本員ヨリ發議セシ修正ノ精神ニ付テハ今回モ同一ナリト雖計算ノ基礎ニ於テ誤解セシモノアルヲ以テ再ヒ諸君ノ御參集ヲ煩セリ前回ニ述ヘタル如ク此ノ骨牌ノ中ニ或ハ二錢ノモノモアリ或ハ十錢ノモノモアリ是等ヲ同一ニ二十錢ノ稅ヲ科スルハ製造者ニ向テ大打撃ヲ與フルモノナリト爲シ定價ニ一倍ノ稅ヲ科スルノ精神ヲ以テ修正ノ發議ヲ爲シ且諸君ノ贊成ヲ得テ本會ヲ通過セリ此ノ發議ヲ爲シタル當時計算ノ基礎トセシハ政府ヨリ配付セシ參考書類ニ依リテ假リニ定價ナルモノヲ定メ此ノ定價ニ依リテ概略政府ノ收入額ヲ計算シ其ノ大差ナキヲ見テ修正ノ意見ヲ立テタリ然ルニ後ニ至リテ右ノ定價ハ小賣價段ニアラスシテ卸賣價段ナルコトヲ發見セリ故ニ此ノ卸賣價段ニ依テ同一ノ稅ヲ科スルコトヲ約二十六萬八千餘圓ノ收入ヲ得ルノ見込ハ法文ニ於テ定價即チ小賣價段ト同一ノ金額ヲ課稅スルコト、セハ六十八萬圓餘ノ收入ヲ得ルコト、ナリ原案ヨリハ却テ過重ナル負擔ト爲ルニ至ラム是本員ノ發議セシ精神ニアラス又本員ノ修正ヲ贊セシ諸君ノ本旨ニモアラサルヘキヲ信スルナリ故ニ最初ノ精神ヲ貫カムトセハ此ノ定價ト云フ言葉ニ相違ヲ生セサルヲ得ス定價トハ小賣價段ナリ之ヨリ最初ノ收入豫定額二十六萬八千圓内外ヲ得ルニハ定價ノ二割五分ヲ課スレハ足ルコトハ此ノ表ニ付テ計算シ得ヘシ故ニ定價ト同一ノ額ヲ課スルコト云フ前回ノ發議ヲ「定價ノ百分ノ二十五ヲ課ス」ト云フコトニ更ニ御決議アラムコトヲ希望ス又百分ノ二十五ノ課稅トスレハ稅額ニ端數ヲ生スルコトアルヘキヲ以テ第四條但書トシテ「但シ稅額一錢未滿トナリ又ハ一錢未滿ノ端數ヲ生スルトキハ一錢ニ

切上クルモノトス」ヲ加ヘ第六條中「二十四時間内」ヲ「相當期間内」ニ改ムルコトニナシタルヲ以テ茲ニ便宜上本員ヨリ陳述スルコト、セム即チ第六條中「引取前ニ於テ」ノ下「一組毎ニ」ヲ削リ「爲スヘシ」ヲ「爲シ其ノ包裹ニ定價ヲ附スヘシ」ニ改メ第九條中「裝置ヲ爲ササル」ヲ「裝置ヲ爲サス若ハ定價ヲ附セサル」ニ改メ第十條ニモ同一ノ修正ヲ爲シ第十五條中「讓渡シ」ノ下「若ハ定價ヲ超エテ販賣シ」ヲ加ヘ第十六條中「裝置ヲ爲ササル」ヲ「裝置ヲ爲サス若ハ定價ヲ附セサル」ニ改メ第十七條中「七月一日」ヲ「十月一日」トシ及第二十六條ノ次ヘ第二十七條トシテ「第三條ノ免許料ハ明治三十五年ニ限り十五圓トス」ノ一條ヲ加ヘタシ

○後藤文一郎君 田口君ノ修正說ニ對シ政府ハ同意スルヤ否ヤ

○政府委員若槻禮次郎君 稅率ヲ除クノ外ハ政府ハ同意ナリ稅率ニ付テハ田口君ノ修正說ノ如ク定價ノ百分ノ二十五ヲ科シテ得ル所政府ノ豫期シタル額ト大差ナキニ於テハ同意セサルニアラス尙果シテ斯ノ結果ヲ生スルヤ否ヤヲ調査シタル上本會議ニ於テ政府ノ意見ヲ表セム

○後藤文一郎君 田口君ノ修正說通過決セラレムコトヲ望ム

○宮原幸三郎君 贊成

○三輪潤太郎君 異議ナシ

○委員長齋藤壽雄君 異議ナシト認メ其ノ通過決セム

右終リテ散會

千時午前十一時五十分

明治三十五年二月二十八日印刷

明治三十五年三月一日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局